



審査シート

ジェルリフォームコンテスト2024

エントリー番号

1-5-0463-0

タイトル

応募部門：下記よりひとつを選んで●を入れてください

生涯（障がい）セーフティライフ
～これからも、自立して暮らせる我が家～

- 戸建て全面
- マンション全面
- リビングダイニング
- キッチン
- サニタリー
- 個室
- 外まわり
- 玄関・ホール

基本情報

邸名	D様邸		築年数	34年	構造	木造	階建	2階
該当部分工事費	957万円	総工事費	2,100万円	建築確認申請の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
増築面積	0㎡	減築面積	0㎡	居住者	15歳未満	15歳以上65歳未満	2人	
改装面積	29㎡	※増築・減築の面積を除く		構成	65歳以上	ペット		
建物の履歴（自宅、中古購入、空き家活用などの情報）				<input checked="" type="checkbox"/> 施主の居宅	34年居住	<input type="checkbox"/> 空き家または中古住宅の活用		
所在地	都道府県	北海道	市町村	札幌市北区	完成年月日	2024年5月10日		

施主様ご要望：リフォームの動機(140字程度で)

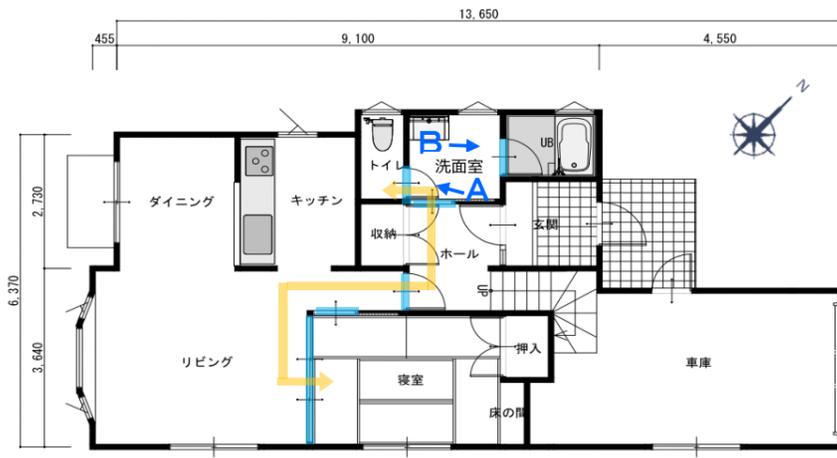
小児マヒによる起立歩行不能の奥様は、下肢装具を付けて歩行可能に。日中は装具を付けて歩行も、夜間のトイレや入浴の際は、装具を付けずほふく前進のように移動する生活。体力的な衰えで、日常の動作に辛さや危険を感じることもあった為、安全に暮らせるリフォームをご希望。

プラン決定のポイントと工夫(140字程度で)

設計・施工の工夫点、住宅価値を向上させた内容など
装具を付けていない状態で最短距離で移動できる様、トイレの両側に引戸を設置し寝室から真っ直ぐ通り抜け出来る配置に。実際の動きを再現しながら、最初に手をつく位置、次につかまる位置、膝で支える位置を確認し兼用できる収納や手摺を設置。家全体の断熱性能向上の為、玄関ドア、サッシを交換、階段にハニカムサーモスクリーンを設置し1階の生活空間の温度差改善を図った。

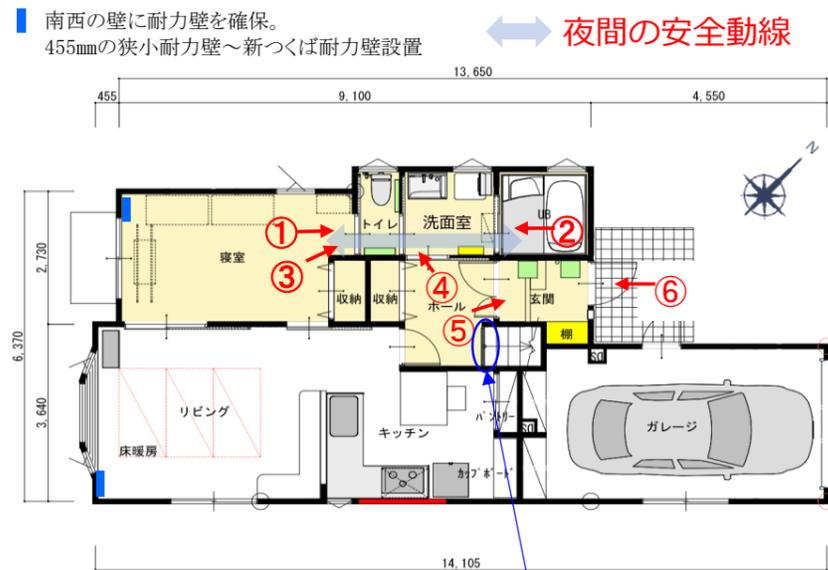
施主様ご感想：満足度など(140字程度で)

ハンデがありながらも今まで自分でなんでもやるように生きてきました。これからも安全に自立して暮らしていけるような家を希望し実現でき満足しています。



黄色い矢印 装具無しで這って移動
夜間、トイレへは、移動距離や4つの段差、ホールの温度差など危険が伴う。
青い矢印 敷居等の数センチの段差あり。

リフォーム後の平面図



南西の壁に耐力壁を確保。
455mmの狭小耐力壁～新つば耐力壁設置

ハニカムサーモスクリーンで上下の温度を遮断

性能向上の特性（複数選択可）

- 劣化対策
- 耐震性
- 維持管理
- 可変性
- 省エネ
- バリアフリー

選択した性能向上の特性で特に配慮した点(50字程度で)

耐力壁設置にて耐震性向上。アルゴンLow-Eペアの樹脂サッシ全窓取替、階段にはハニカムサーモスクリーン設置。1階段差解消。

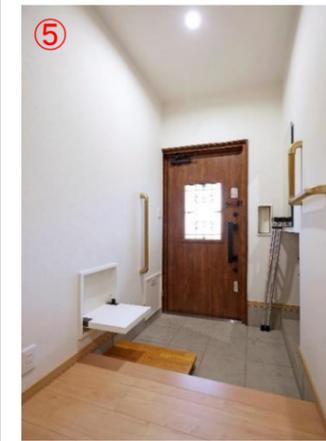
性能向上で、準拠・参考にした数値（性能表示の等級など）

(※わかれば改修前の性能数値と改修後の性能数値を記入)

リフォーム前の写真



リフォーム前またはリフォーム後の写真（どちらでも構いません）



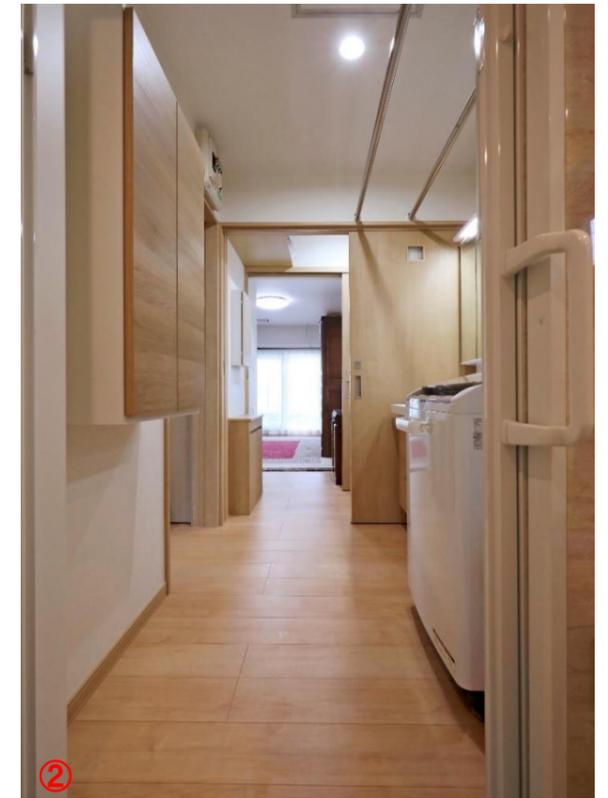
靴を脱ぎ履きする格納イス

荷物を仮置きする格納イス

リフォーム後の写真（作品テーマ、工事内容が明確に分る内容の写真。写真4枚程度）



↑ 寝室⇄トイレ⇄洗面室⇄UB への移動は最短で段差なく安全に移動できる様に配置。



↑ 洗面室の収納も床に座って届く位置に設定。



装具での歩行は通常の床材では滑って転倒する可能性がある為、実物サンプルで実験し選定。

【トイレ】
這って移動し、トイレで便座に座る為の動作を聞き取り、再現し、掴まる為の収納や手摺など、位置、高さを確認して決定。

【玄関】
玄関の段差による危険軽減の為、格納イスや手摺、式台を設置。

